

4 - 2 伊豆半島付近の地震活動 (1982年11月～1983年4月)

Seismic Activity in the Izu Peninsula and its Vicinity
(November, 1982 - April, 1983)

東京大学地震研究所

地震予知移動観測室 (地震移動班)

地震活動研究部門

Earthquake Research Institute, University of Tokyo

1982年11月(第1図), 12月(第2図)の期間は特に顕著な活動はなかった。

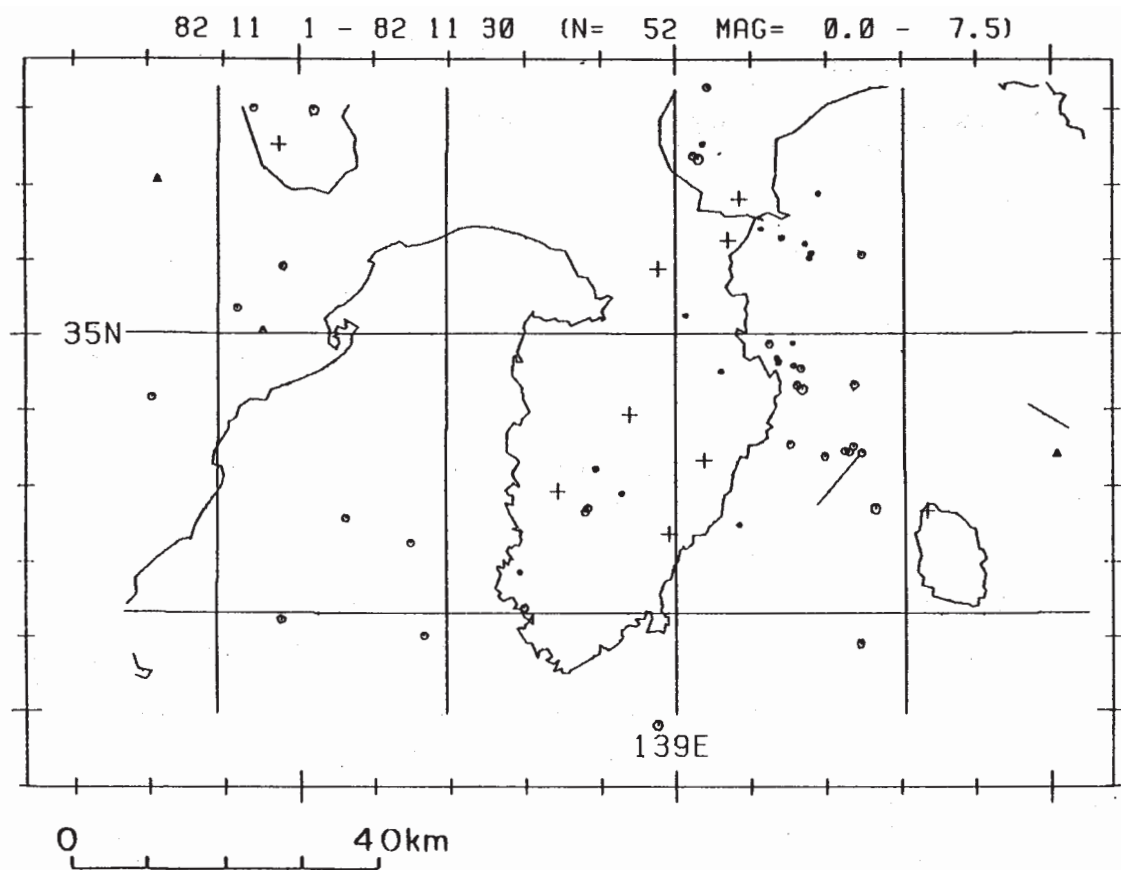
1983年1月13日頃から伊豆半島東方沖に群発地震が発生した。この活動の中の最大地震は20日00時43分, M4.5だが25日06時46分, M4.0以降静穏化していった。1月中の活動経過を第7図に示す。

今回発生した場所は1978年11月¹⁾以降活動を繰り返している川奈崎沖の群発地震の活動域の一番東側であるが昨年3月, 5月²⁾, 9月³⁾と小さな活動域が順次東方へ移動し, 今回の活動と連なったことは注目される。

1983年4月8日03時43分頃駿河湾でM4.1の地震が起った。DS(大仙山)で34ケの余震を観測した。この活動経過を第8図に示す。又, 4月29日22時39分愛鷹山付近を震源としてM4.8の地震が発生し三島で震度Ⅲとなった。DS(大仙山)で10ケ程記録した。震源決定には地震研究所富士山観測点のデータを使用した。

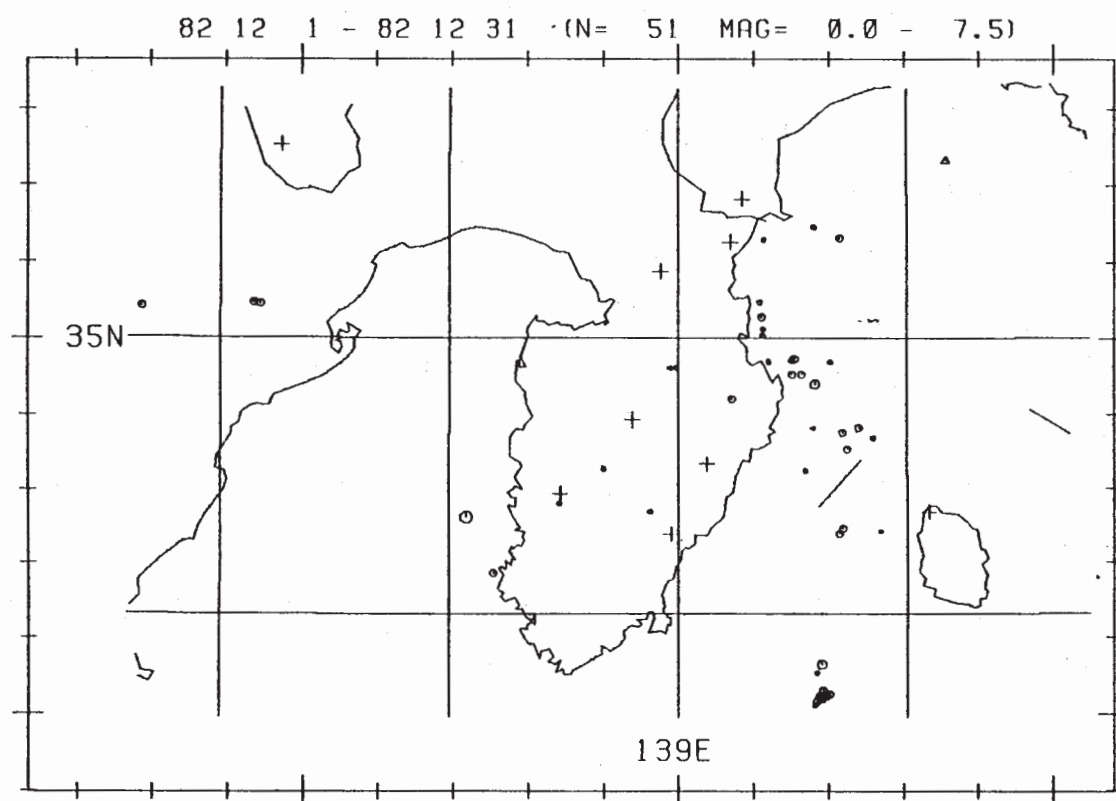
参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所: 伊豆半島付近の地震活動(1978年11月～1979年4月), 連絡会報, **22**(1979), 57 - 62.
- 2) 東京大学地震研究所: 伊豆半島付近の地震活動(1981年11月～1982年5月), 連絡会報, **28**(1982), 164 - 168.
- 3) 東京大学地震研究所: 伊豆半島付近の地震活動(1982年6月～10月), 連絡会報, **29**(1983), 133 - 137.



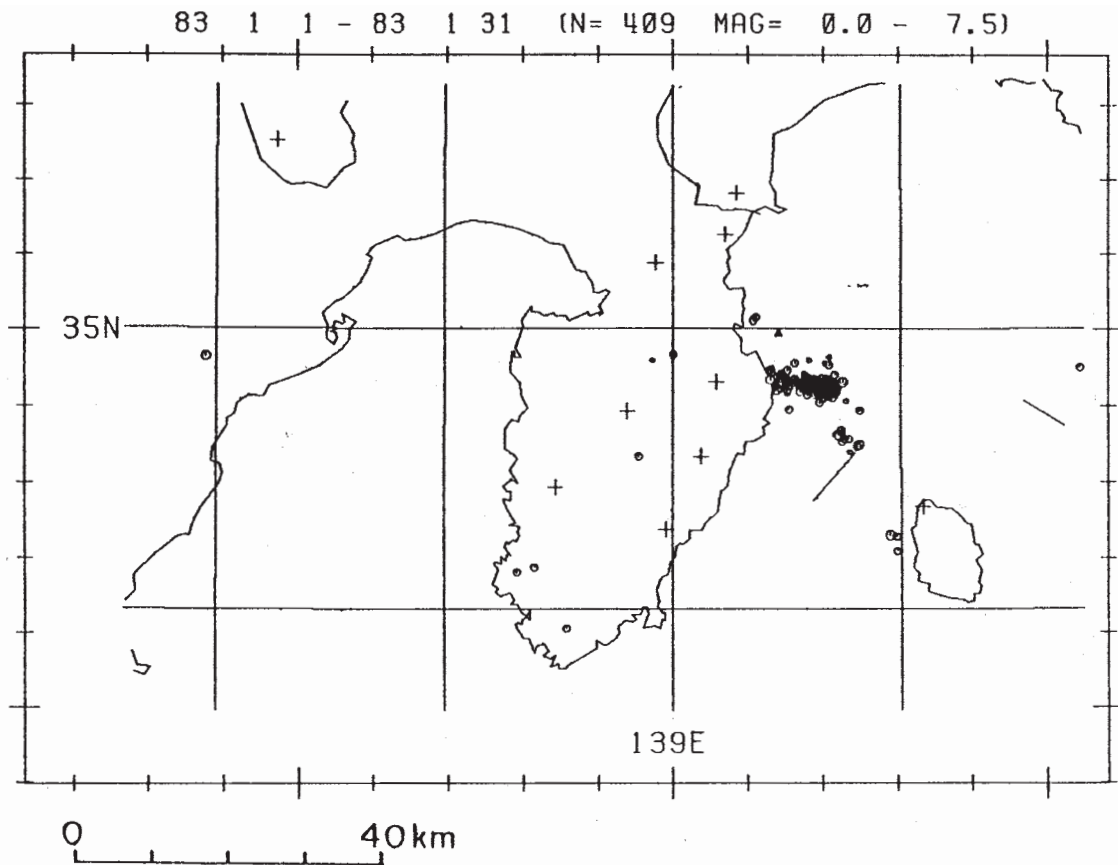
第1図 1982年11月の震央分布図

Fig. 1 Distribution of epicenters in November 1982.



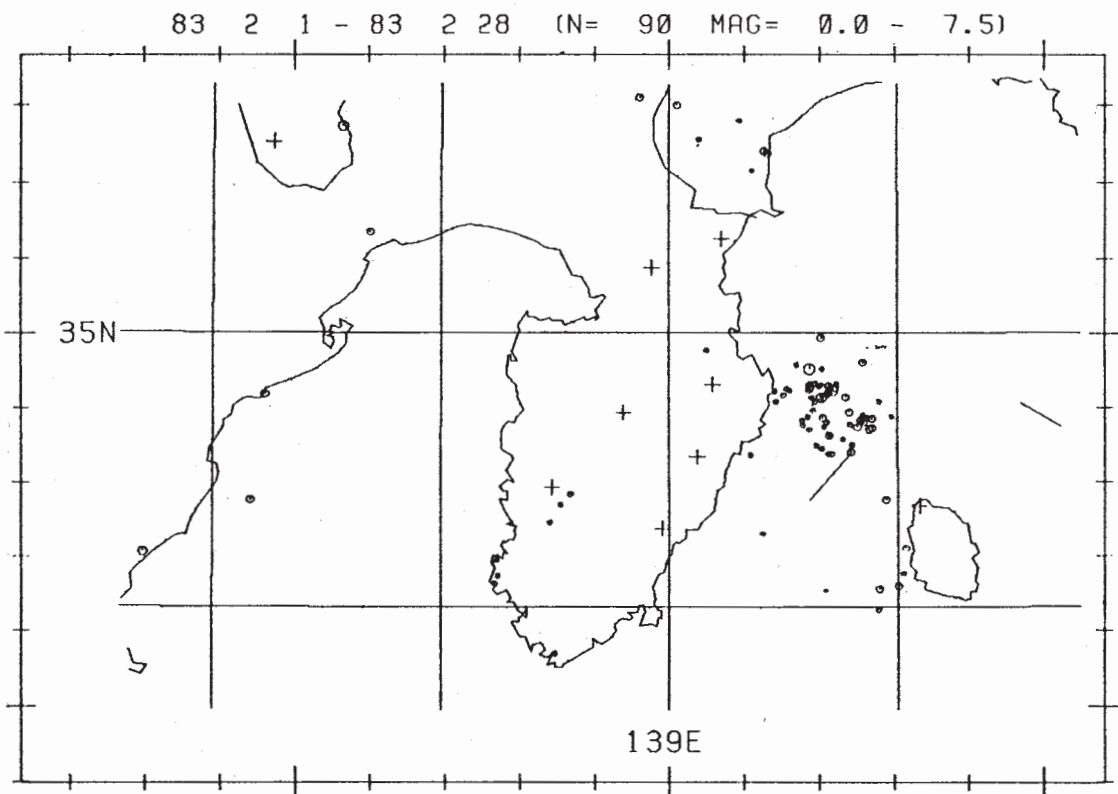
第2図 1982年12月の震央分布図

Fig. 2 Distribution of epicenters in December 1982.



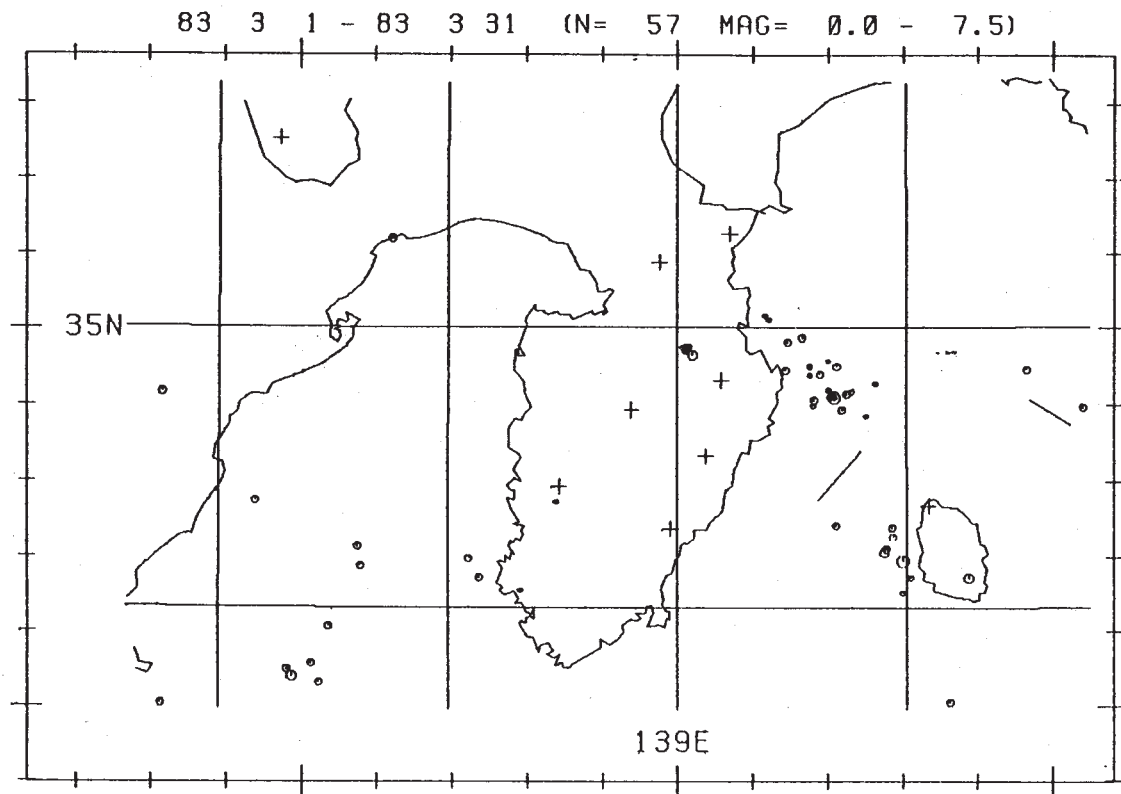
第3図 1983年1月の震央分布図

Fig. 3 Distribution of epicenters in January 1983.



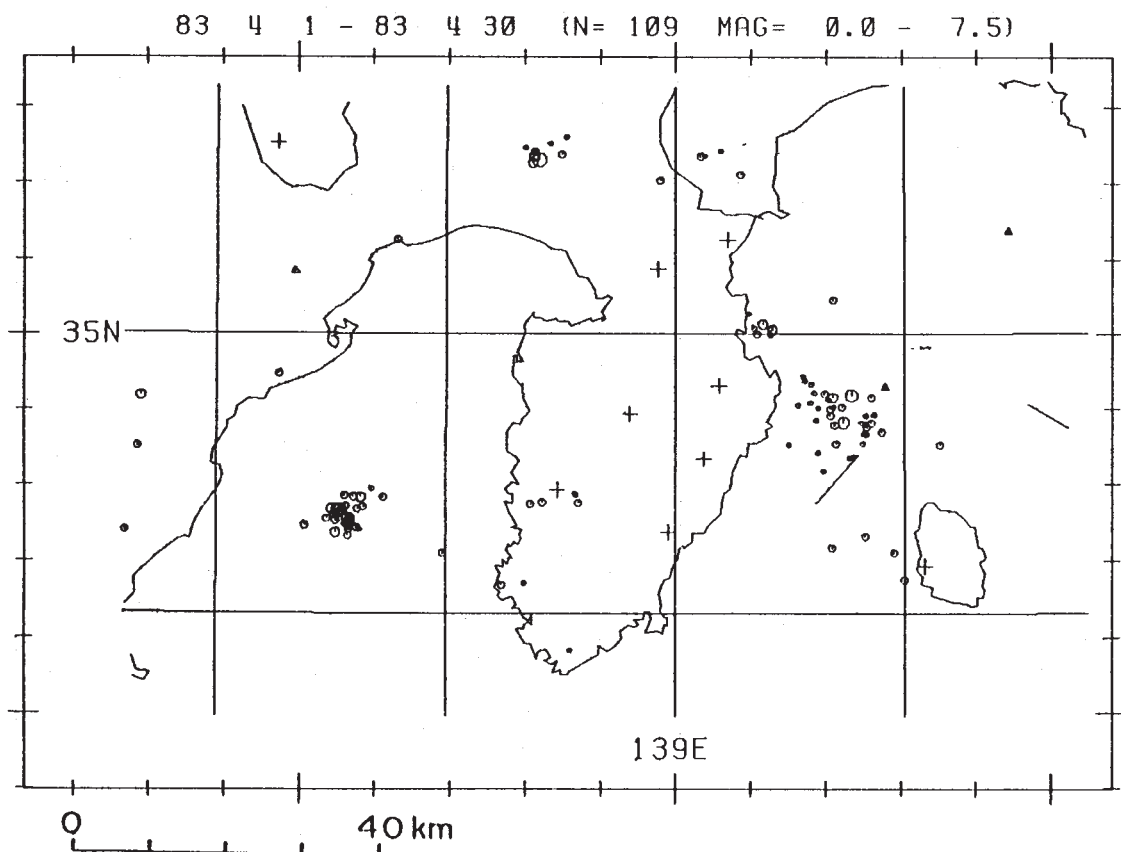
第4図 1983年2月の震央分布図

Fig. 4 Distribution of epicenters in February 1983.



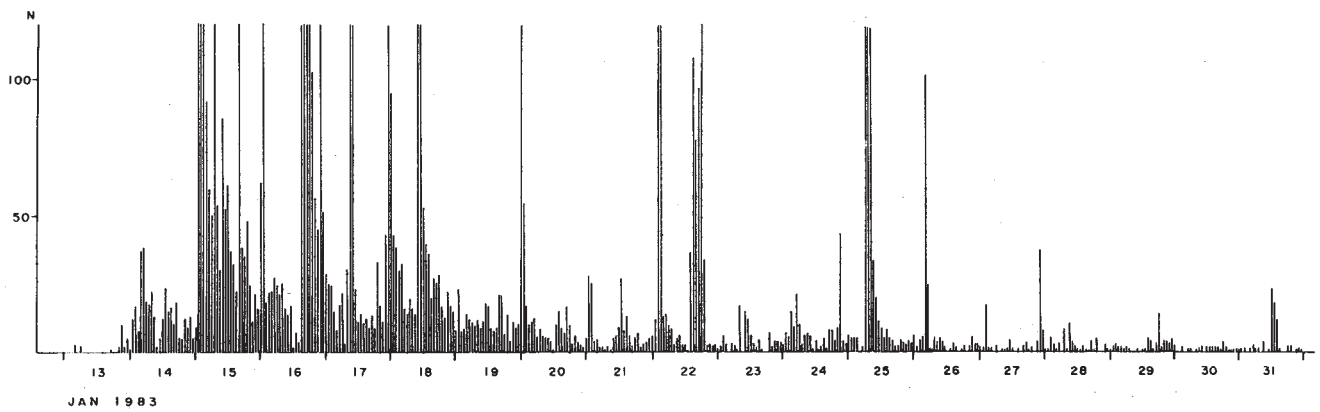
第5図 1983年3月の震央分布図

Fig. 5 Distribution of epicenters in March 1983.

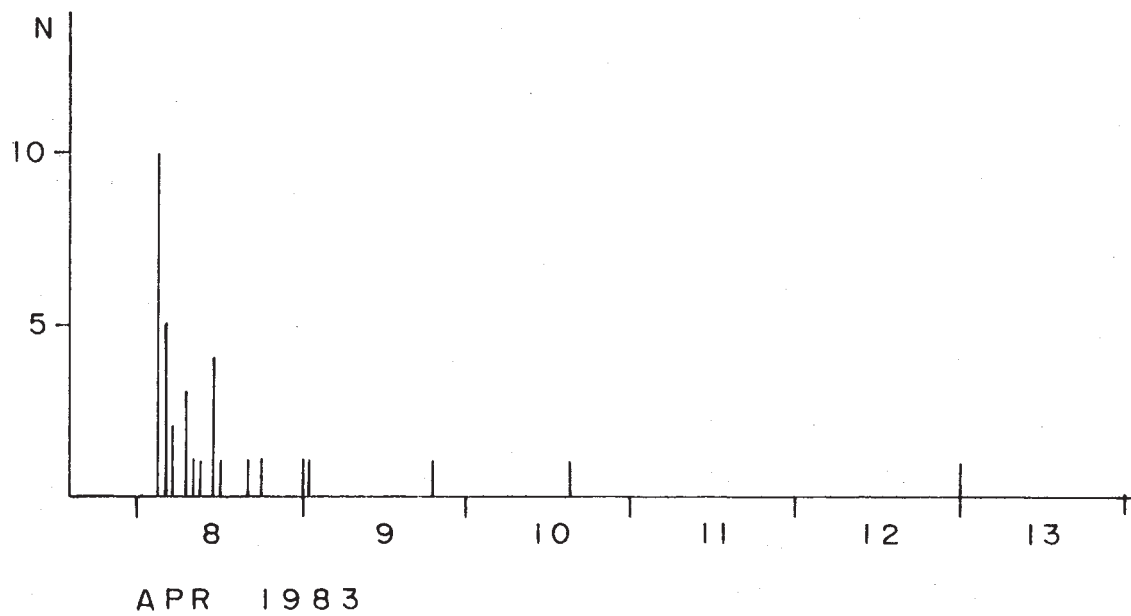


第6図 1983年4月の震央分布図

Fig. 6 Distribution of epicenters in April 1983.



第7図 KZで観測された川奈崎付近の地震の時間別回数
 Fig. 7 Hourly number of earthquakes near Kawanazaki, recorded at KZ station.



第8図 DSで観測された駿河湾の地震の時間別回数
 Fig. 8 Hourly number of earthquakes of the Suruga-Bay, recorded at DS station.